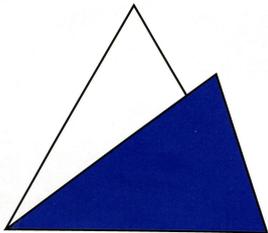


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2021年 5月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2021年 5月 1日発行 通巻337号

5月号目次

・ 目 次	2
・ コロナ禍の連休登山	3
・ 県連活動方針抜粋	4
・ 雪上講習会報告	6
・ リレーエッセイ	7
・ 房総の登山道整備報告	9
・ 5月・6月予定表	10

表 紙 説 明

ハイキング委員の皆さんが、毎月順番でリレーエッセイを投稿しています。
今月は、深草さん（岳人あびこ）から会の仲間との山行報告です。
表紙の写真は、黒文字平からの筑波山です。新緑が美しい里山の一枚です。
コロナ禍で、自由に山行が出来ない状況は続くと思われまます。
こんな時こそ「近くていい山・茨城の山」を楽しんではいかがでしょうか。

—— 編集者 ——

コロナ禍の連休登山

日本勤労者山岳連盟 理事長 浦添 嘉徳

準備と訓練が事故を防ぐ

大型連休を迎えハイキングや高所登山を計画しておられる方も多いと思われます。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中の登山は、医療崩壊が懸念されることもあり、山岳事故を起こさないための特別な注意が必要です。

新型コロナウイルスは感染力が強いといわれる変異株が全国に広がって脅威を増しています。しかし、日本では国民へのワクチンの接種はいつになるか分からない状況です。その一方で、登山者をはじめ体を動かしている人にとって明るいニュースもあります。

それは、スポーツ医学誌で、新型コロナウイルスによる重症化を避けるためには、「系統的な運動」が重要だとする調査結果が発表されたことです。

約5万人の感染者を対象に「運動不足の人」「何らかの運動をした人」「継続的な運動をした人」の三つに分けて調査しました。その結果、「継続的な運動をした人」の死亡率は0・4%、入院率も3・2%で、他に比べ大幅に低かったという事です。

調査は、体力調査などを厳密に行った結果ではないようですが、研究者らは、定期的に運動することが、新型コロナウイルス感染症の重症化や合併症を防ぐため、個人が実践できる最も重要な行動かもしれない、と示唆しているようです。

コロナ禍の中の大型連休、遭難事故を防ぐための綿密な登山計画が必要です。北アルプスなどの3000メートル級の山岳地帯は、まだ冬山です。低山・里山のハイキングでも危険はつきものです。

警察庁が発表している山岳遭難の概況では、コロナ禍で登山者数が減少し、遭難者の発生件数も減っていますが、道迷い、転倒、滑落、病気、疲労の順に多いのが実情です。これらの遭難は、計画段階の事前準備や、トレーニングを行っていれば防ぐことができます。グループの体力に合った的確な登山計画と万全な装備品の準備を心掛けることが重要です。

緊急事態の宣言を政府に要請し、県境の往来をしないように呼び掛けている自治体もあります。

感染防止のために、①山域を管轄する自治体の移動制限の情報 ②公共交通機関の運行状況や山小屋などの運営状況の確認 ③行動中は、周囲の人となるべく距離を開ける ④熱中症のリスクが高くなることから、行動中に息苦しさをを感じる際は、マスクを外すことなどの注意が必要です。

医療体制を圧迫しないためにも、遭難事故を起こさない山歩きを楽しみましょう。

全国連盟理事長の、コロナ禍の登山についてが「しんぶん赤旗」に掲載されました。

「継続的な運動」の重要性や、遭難事故の対応として事前準備やトレーニングの実施

千葉県連盟 第55期（2021年度）活動方針の抜粋

コロナ禍により、前期の定時総会に続き今期も合同会議を開催出来ずにメールによる議案提案、意見集約、採決を実施しました。

千葉県連盟は厳しい状況が続いています。会員減少や高齢化問題、県連は必要か等の声もあります。このような現状で定時総会、合同会議を開催出来ない事は大きな問題です。

一方、長年空席だった理事長を、野田理事長に受けていただきました。選出していただいたかがりび山の会の皆さんにお礼を申し上げます。

新理事長を中心に、「見える県連」をめざして頑張ります。

各会、会員の参加・協力をお願いします。

第55期活動方針を抜粋して紹介します。ご意見、要望をお願いします。

- ◆ 「県連は必要か」「県連は何をやっているのか」最近、良く聞きます。厳しい言葉です。前年度も同じ方針を提案しましたが、コロナ禍で全てが実施出来なかった。今年度も会・会員からよく見える県連を目標に活動します。
 - 1、理事会について
 - ・理事会は、8月を除き毎月開催する。（第3木曜日・船橋市西部公民館）
コロナ禍に対応して、ZOOM会議と併用する。
 - 2、事故防止活動について
 - ・教育遭難対策委員会と協力し理事会も事故防止に取り組む。会員が参加しやすい事故防止交流集会や講習会を実施する。
 - 3、委員会活動について
 - ・県連は委員会活動が全てで、県連役員と理事は委員会活動に参加しています。各会より委員の選出をお願いします。
 - ・会単独では取り組めない講習等を実施して、会と会員の要求に応える。
 - 4、ふれあいハイクについて
 - ・5月に実施予定で準備を進めていたが、コロナ禍により中止になった。次年度の実施にむけて実行委員会を継続して進めている。
 - 5、房総の登山道の復興作業に取り組む
 - ・「房総の登山道復興プロジェクト」に参加して復興作業に取り組む。
- ◆ 今年度の重点活動について
 - 1、交流山行
 - 交流山行の意義・実施方法について話し合いを継続する。交流山行の実施と目的を共有して無理のない自然な形で実施する。
 - 2、会員拡大への取り組み。
 - ・各会の現状を把握し、県連統一での実施、会の現状にあった無理のないかたちでの実施を検討する。
 - ・会員だけで実施しているクリーンハイク、ふれあいハイクを一般公募制にして、参加者に労山の紹介や入会を呼びかける。

◆事務局不在の現状とその影響。(2011年以来不在)

1、現状はどうか。

- ・事務局不在で、会員サービスはもとより基本的な事務処理も出来ていない。
- ・全国連盟への報告や各会への事務連絡、事務所の維持管理などは役員が交代で実施している。その結果、必要最小限になり本来の事務局活動が実施出来ない状況が続いている。

2、事務局の負担を少なくする。

- ・会員の間では、事務局は大変だと言われている。事務局の仕事を見直して負担を軽減することで協力者を求めたい。その一つとして、会で解決出来る事は会で実施していただきたい。
- ・各種調査や報告類は、提出日や書式等を守ってもらう。しかし、報告日等を守らない会が多くなっている。確認や催促作業が多くなり、無駄な時間と労力が事務局の負担になっている。

◆ 今年度の事務局活動について

1、事務局不在の現状が回復されるまでの間は、

- ・全国連盟等の情報や報告等を、各会への情報提供や問い合わせ等については、役員と理事で実施する。

2、「事務局は大変」のイメージを変える必要がある。

- ・従来体制や仕事の分担にとらわれない事務局に変えないと状況は変わらない。そのために、会役員や事務局経験者に協力をお願いして、意見・要望を出していただき検討して行く、必要であれば、規約改正も実施する。

3、全国連盟等への報告等で、会で実施する事は会で確実に実施する。

報告等が遅れる、届いてない等の問い合わせがあります。会に確認して対応している。簡単な事ですが負担は大きい。

4、事務局業務の一部を担当する。必要な時に1パートに限っての応援等を検討して会・会員にお願いします。支援隊のイメージで協力者を募集する。

文責 千葉県連会長 広木 国昭

◆ 千葉県連は、長期間にわたり理事長不在で活動をしてきました。

今年度、野田理事長(かがりび山の会)が就任しました。理事会をはじめ各会には新理事長に対してご協力をお願いします。

◆ 事務局不在の解決が最重点です。事務局は県連組織には重要なポジションです。

しかし、皆さんが思っているより仕事は少ないと思います。年間を通してみると、年度はじめや総会時の節目に決まった仕事があります。

年間を通しての仕事は、パート的なお助け隊の募集で乗り切りたいと思います。

- ・コロナ禍が収まったら、事務所の整理からお助け隊にお願いしたいと思います。
- ・事務所に近い、会や会員の方々の協力をお願いします。

◆ 事務局に関する、ご意見・質問をお待ちしています。

連絡先：広木国昭 danphiro@jcom.zaq.ne.jp

2021 雪上技術講習の報告

千葉県連教育遭難対策委員会

4月3日、谷川岳／マチガ沢出合にて雪上技術講習を行いました。

今年は、外部講師を招いて、参加者を限定し、今回の講習内容を自会に持ち帰り、会員へ指導できる方を対象としました。

積雪は150cm、雪質はザラメで決してよい状態ではありませんでしたが、後から二組のパーティーがきており訓練には適した場所です。

参加者は、下記7会で計12名でした（教遭委員3名を含む）

曇天の中、7時30分より雪上歩行訓練（つぼ足 アイゼン）・滑落停止訓練・ロープワーク（確保技術）等を実施して、13時に終了しました。

実施後のアンケートでは、

- ・「状態がブレない」ことが安全で確実な歩行だということが理解できた。
 - ・バケツを掘っての腰絡み確保やピッケルでの支点構築など、とても参考になった。とくにスノーボードが実用的であることが理解できたことは収穫。
 - ・講師の話が大変分かりやすかった。外部講師にして良かったと思います。
 - ・少人数での講習の方が、講師とのコミュニケーションが取れて良いように感じました。
- 今回のようなガイド講習として、会に最新技術を持ち帰って貰った方が良いと思いました。

などの意見が寄せられました。 次回の参考とさせていただきます。

講師の説明をまとめた講習メモを作成し、参加者に配布しましたので、自会への指導に活用していただきたいと思います。

*参加会：岳人あびこ、ちば山の会、船橋勤労者山の会、松戸山の会、山の会「岳樺クラブ」、東葛山の会、かがりび山の会



「宝篋山～小町山～千代田アルプス」ハイキング記

ハイキング委員 深草 茂美（岳人あびこ）

はじめに

新型コロナ対策の緊急事態宣言が3月21日に解除され、4月12日からまん延防止法が、大阪府、兵庫県、加えて東京都、京都府、沖縄県に出され、4月20日からは千葉県も対象地域になりました。その合間を縫ぬった4月11日に、宝篋山から土浦市、かすみがうら市、石岡市の境界付近に連なる千代田アルプスと呼ばれる東筑波の山々のハイキングを会山行として参加者28名で実施しました。山行実施に当たっては、現地集合現地解散、公共交通機関内会話抑制、4グループによるグループ毎の分散行動、ソーシャルディスタンス確保、マスク着用、等々のコロナ感染対策を参加者に徹底して行いました。そんなコロナ禍の状況で行なった会山行を記します。

歩行コース

宝篋山入り口（8：55発）から極楽寺コースを宝篋山山頂へ、山頂から小町山（361M）に向かい、朝日峠展望公園を経て千代田アルプス（剣が峰→雪入山（345M）→浅間山（344M）→権現山（99M））の各ピークを通過し御野立所の碑に出て、上志筑バス停（15：20着）からバスにて土浦駅へ戻るコースです。（歩行時間 6.5H）

宝篋山入り口～宝篋山山頂

宝篋山入り口の小田休憩所広場で身支度し、山桜のピンク、新芽の黄緑色、常用樹深いみどりが織りなす春の山肌を見、木々の間から聞こえる小鳥のさえずりを聴き、ところ何処に咲く花をめでながら、登山道を気持ちよく歩きました。宝篋山山頂からは春霞の為か富士山を見る事は出来ませんでした。眼下に広がる霞ヶ浦の絶景と筑波山の眺望を楽しめました。

宝篋山山頂～小町山～朝日峠展望公園

宝鏡山山頂から林道を15分程歩き小町山ハイキングコースに入りました。鬼越山372Mと貼り紙された木がある小ピークを上った後、小町山山頂脇のハングライダー離陸点に到着しました。そこからは関東平野が一望出来、その景色にめがけて飛び出すハングライダーの離陸が物珍しく暫く足をとめて眺めました。小町山山頂で休憩を取り、筑波スカイラインと並行に造られたハイキングコースを進み朝日峠展望公園に到着しました。一面みどりの芝生に覆われている公園の広場は、はコロナ禍の影響か人影はまばらでした。広がる関東平野の眺望と、山桜と新緑の小町山の景色を楽しみながら、数名ずつ散らばって、公園のベンチで昼食を摂りました。

朝日峠展望公園～千代田アルプス～御野立所

朝日峠展望公園から千代田アルプスハイキングコースに入りました。車が通れるぐらいの道幅の林道を暫く歩き、パラボナアンテナ設置場所を2か所通過すると、両側に樹木が茂るアップダウンの少ない歩きやすい登山道に入りました。登山道を進み剣が峰と雪入山の道標を通過すると、黒文字平と書かれた道標がある地点に到着しました。黒文字平からは、男体山と女体山の山頂が鋭くとがった、いつも見る印象とは異なる筑波山を眺望できました。黒文字平から両側が杉並木になっている少し急な勾配の登山道（参道？）を、石塔とその周りを囲む様に石の祠が5つ程おかれている浅間山山頂に向かって歩きました。浅間山山頂からは緩い下りの登山道を一気に歩き御野立所の碑に下り、御野立所の碑から果樹試験場の間の道を抜け15分程で志筑バス停に到着しました。

終わりに

今回のハイキングは三つのハイキングコースを継なぐ比較的長い距離を歩きました。それぞれのコースは、地元の人たちにより良く整備されていて、各所に案内の道標が立てられ、道も歩きやすく随所に見せ場も有り楽しいハイキングができました。又本山行は会員が多数参加した会山行の為、コロナ感染防止対策を徹底した、制約のあるハイキングとなりました。しかし会員が同じ時間帯に同じ道を歩くことにより、会員間の連帯が一層はぐくまれたと感じる山行でした。

-以上-



房総の登山道整備報告

広木 国昭（ちば山の会）

- 1, 場所 木之根峠（鴨川市金束）
- 2, 実施日 2021年4月2日（金）
- 3, メンバー 田中ハイク委員長 ・ちば山の会3名

房総の山は冬が最高です。これからの季節は「蛭」の被害が多く要注意です。

「蛭害」の前に、台風15号・19号の被害復旧が進まない登山道の調査と整備を計画しました。田中さんは、登山道整備を年間30日位入山しているそうです。

市原SAに集合し県道88号を鴨川方面に向かい、金束のトンネル手前に駐車して取り付く。歩く人も少ない登山道であるが、道の両端には上部に赤いペンキが塗られた、国道や県道脇でよく見られる境界杭があり管理者は国土交通省で立派な国道です。この登山道は防人も通ったと言われ、古くからの交易路であり地元の生活道であったとの事です。古い石仏や石碑が要所に残り役人がいた番屋跡もあって房総の歴史が感じられる古道です。

機会があったら、温暖な房総の山並みや太平洋を眺め歴史を感じながらのんびりと歩いて下さい。もちろん冬場がお勧めです。

今回は、鋸山から清澄寺に続く房総の背骨と言われる稜線で、安房郡と君津郡との群界尾根にある木之根峠付近の登山道の整備を実施しました。

随所に、杉や雑木の太木が根ごと倒れていて巻き道や乗り越えたりしないと通れません。3年経っても全く復旧の手が入ってなく、通行支障の倒木をチェーンソーで伐採をしました。倒木は年数が経って枯れているので切りやすくなっている。

千葉県連は、鋸山や嗟峨山周辺、今回の群界尾根の整備を実施して来ました。今後も登山道の復旧作業を継続していきますので参加・協力をお願いします。



県連予定表

5月			6月		
日付	曜日	会議・イベント	日付	曜日	会議・イベント
1	土		1	火	
2	日		2	水	
3	月	憲法記念日	3	木	
4	火	みどりの日	4	金	
5	水	こどもの日	5	土	
6	木		6	日	
7	金	役員会18:00~ZOOM会議で実施	7	月	役員会 19:00~
8	土		8	火	
9	日		9	水	
10	月		10	木	
11	火		11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	
17	月		17	木	理事会 19:00~
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	理事会19:00~ 西部公民館(予定)	20	日	
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日		23	水	
24	月	教遭委員会 19:30~ オンライン会議	24	木	
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	
28	金		28	月	教遭委員会 19:30~ オンライン会議
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月				

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>